

14.4  
697

大正十三年  
東京市水道統計表

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



第一、工事、工費並規模

大正十三年度末現在

ハ市水道局寄贈本

創設	起工年月	竣工年月	工費	計	備	考
第一回擴張	明治三十四年十一月	明治卅三年三月	七、三六〇、八三三	豫定給水人口	豫定一人一日平均給水量(小數二位以下四捨五入)	極度一日總給水量
第二回擴張	同三十三年五月	同三十九年三月	九二、二六〇	均給水量(小數二位以下四捨五入)		
第三回擴張	同三十八年八月	同四十二年三月	七〇、一四四			
第四回擴張	同四十二年三月	同四十四年三月	二四、四七三			
第四回擴張	大正二年十一月	大正十四年三月	豫定五、二〇〇、〇〇〇 第一期分) 三、一〇〇、〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇	一六七	五〇〇、八七六

第二、水源、水路

(其一) 水源

大正十三年度末現在

河又ハ湖沼等ノ名稱	表面水	地下水等ノ區別	最大湧水時季水量(小數二位以下四捨五入)	取入方法	備	考
多摩川	表面水		三、八二〇	自然流下	最大湧水時季ハ大正十四年三月十八日ヨリ同二十一日迄ナリ	

(其二) 源水貯水池

大正十三年度末現在

池數	堰堤ノ體質	總高	總長	満水面下ノ深	總貯水量	總水面積	備	考
村山上貯水池	土堰堤	二六、七	一、四五四	一六、七	三、五五、九三〇	四三、五、二九三	大正十三年度末ニ於テハ完了セ	
同貯水下池		二七、一	二、〇九〇	二二、七	一三、四九、〇〇〇	一一、〇五、八五一	了ニ近キヲ以テ	掲記ス

〔備考〕 一、總高、總長、満水面下ノ深ハ小數二位以下四捨五入ス  
二、貯水量、水面積ハ總貯水量、總水面積ヲ記入シ小數以下四捨五入ス

大正 15. 4. 29 寄贈

取 水 導 路	延 長 上 幅 下 幅 水 深	三九、九三七 八、六〇〇 一、二五五〇〇	内法巾 内法巾 内法巾	九〇 三〇 三〇	内法底巾 内法底巾 中央最高	三〇 三〇 三〇	水管口径 五百耗以上 四百耗未滿	内譯	備 考

(其二) 導水路

[備考] 小數二位以下四捨五入ス

大正十三年度末現在

第三、淨水場

(其一) 沈澄池

[備考] 小數二位以下四捨五入トス

大正十三年度末現在

池 數 容 積	池 數 容 積	三 八 四 、 六 九 三 〇 〇	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	大 部 深	有 効 水 深	備 考

(其二) 濾過池

[備考] 小數二位以下四捨五入ス

大正十三年度末現在

境 淀 橋	池 數 面 積	二 四 五、 二 六 四 〇〇	上 部 長	下 部 長	上 部 幅	下 部 幅	大 部 深	濾 床 厚	一 晝 夜 濾 過 速 度	備 考



(其二) 淨水池

大正十三年度末現在

池數	池名	積	池ノ		有効水深	備考
			上ノ	下ノ		
一	淀橋	三五、一四三	一〇九、〇九	一〇八、五	三、六四	
二	芝、本郷	三六、四八八	九、四	三、六	五、〇九	
一	和田堀	四、九二	六、八	六、八	五、〇九	

[備考] 小數二位以下四捨五入ス

第四、唧筒

(其一) 取水唧筒

大正十三年度末現在

臺數	臺名	型式	原動力		製造所名	工一臺ノ	最大揚水落差 (小數二位以下四捨五入)	一臺一晝夜ノ 最大送水量	備考
			電力	電力					
四	渦卷唧筒	二臺「タービン」横型 二臺「ゲオリユニット」横型	電力	電力	荏原製作所 荏原製作所	一四九 八	六、六七 六、六七	一〇〇、二〇〇 六〇、一〇五	本唧筒ハ新水路決潰、湯水等非常ノ際源水ヲ取入ルル爲ノ豫備トシテ常時ハ自然流下ニ依リ源水ヲ取入ル、モノトス

(其二) 送水唧筒

大正十三年度末現在

臺數	臺名	型式	原動力		製造所名	工一臺ノ	最大揚水落差 (小數二位以下四捨五入)	一臺一晝夜ノ 最大送水量	備考
			蒸汽	蒸汽					
六	ウォシントン型	横置直詰 フランシヤー式	蒸汽	蒸汽	川崎造船所 三菱造船所	二八	五〇〇	二七、六〇四	

### 第五、水管並水壓

大正十三年度末現在

〔備考〕一、擴張費ニ依リ敷設ノ分ハ目下整理中ニテ調査困難ニ付省略ス  
二、小数二位以下四捨五入

鐵管、水管、鐵筋 コンクリート管等 ノ區別	配		給		水		管
	千二百耗以上	千二百耗以下	千二百耗以上	千二百耗以下	千二百耗以上	千二百耗以下	
鐵管	...	...	...	...	...	...	...
水管	...	...	...	...	...	...	...
鐵筋	...	...	...	...	...	...	...
コンクリート管	...	...	...	...	...	...	...

延	長	一平方糎水壓		備考
		設計	實際	
三百耗以下	...	...	...	...
二百耗以下	...	...	...	...
百耗以下	...	...	...	...
百耗以下	...	...	...	...
...	...	...	...	...

### 第六、經常收支

〔備考〕支出ニハ水道事務費、水源水路費、諸池費、唧筒運轉費、鐵管維持費等水道經營ニ要スル經常費ノミヲ掲ケ各戸給水ニ要スル給水工事費及之ニ關聯スル事務費等ヲ除外シ雜支出中ニハ休退職並ニ死亡給與金水質試驗費等ノ雜費ヲ計上ス

(其一) 收入  
大正十三年度中

〔備考〕圓位未満ハ四捨五入ス

專放 用任 給	水 料	普 通 計		特 別 計		共 用 料
		本年 算	前年 算	本年 算	前年 算	
豫算	...	...	...	...	...	...
決算	...	...	...	...	...	...
豫算	...	...	...	...	...	...
決算	...	...	...	...	...	...



### 第八、水道ト河水トノ使用比較

大正十三年末現在

給水區域内總戸口數		水道使用戸口數		堀井又ハ河水等使用戸數		堀井數		堀井又ハ河水等ノ水質概況		備	考
戸數	人口	戸數	推定人口	戸數	推定人口	堀井數	細菌聚落數	堀井又ハ河水等ノ水質概況			
四七、八三三	一、九六六、三〇〇	二九四、六〇四	一、六七、八三九	四八、三六三	一九、七七七	細菌聚落數	六、九三三				

備考

- 一、全市戸數、人口ハ大正十三年十月一日現在數ニ由ル
- 一、本市ハ河水等ノ使用者ナシ堀井數ハ本市十五區ノ内十一區ハ明治三十九年九月ノ調査ニ係リ他ノ四區ハ明治三十六年十月調査但大正九年四月四谷區ニ市外新宿町ヲ編入シタルヲ以テ同町堀井數六百八十九ヲ追加セリ
- 一、細菌聚落數ハ大正十三年(百九十八回)試験ノ平均數ナリトス
- 一、水道水使用戸數ハ例之日本橋京橋兩區ノ如キ全區水道使用者ニシテ一ノ堀井使用者ナキヲ以テ戸籍上ノ戸數ハ水道使用戸數(水道局調査ノ)ト一致スヘキ筈ナルニ戸籍ハ日本橋區一八、四二九京橋區二二、〇二九ニシテ水道使用戸數ハ日本橋區一五、八〇〇京橋區一八、〇六九ナルノ差アリ之一戸ノ使用者中ニハ戸籍上ノ二戸以上ヲ含ムモノガアルガ爲ナラン堀井使用戸數ニ就テハ調査材料ナキヲ以テ全市戸數ヨリ水道使用戸數ヲ減ジタル數ハ一、二二三、一五四ニテ此ノ數ハ堀井使用戸數ナリト雖モ實際ハ前項ノ如ク戸籍上ノ數ハ水道局調査ノ數ヨリ大ナルガ故ニ之ヲ直チニ對照スルハ不穩當ナルヲ以テ戸籍上ノ堀井戸數ヨリ日本橋、京橋兩區ノ平均割合ヲ標準トシテ一割七分九厘ヲ減ジタル數ヲ掲ク姑ク後日正確ノ統計ヲ得ルノ日ヲ俟タントス





東 京 市 水 道 統 計 表

第 九

濾 過 水 質 試 驗 成 績

大 正 十 三 年 自 一 二 月 至 十 二 月

大 正 十 三 年		一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月	七 月	八 月	九 月	十 月	十 一 月	十 二 月	平 均
試 驗 回 數		56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
色 度	最 高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最 低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平 均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
濁 度	最 高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	最 低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	平 均	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臭 味	無 臭	56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
	無 味	56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
反 應	弱アルカリ性	56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
ク ロ ー ル	最 高	1.595	1.595	1.773	1.595	1.595	1.773	1.595	1.595	1.595	1.418	1.595	1.418	
	最 低	1.064	0.887	1.064	1.241	1.241	1.241	1.241	1.241	1.241	1.241	1.241	1.241	
	平 均	1.358	1.332	1.469	1.449	1.422	1.395	1.407	1.348	1.321	1.319	1.318	1.321	1.371
硫 酸	痕 跡	56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
硝 酸	痕 跡	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	痕 跡
亞 硝 酸	檢 出 セ ズ	56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
ア ン モ ニ ア	檢 出 セ ズ	56	76	74	74	84	84	116	84	84	66	76	64	
硬 度	最 高	2.030	1.900	2.160	1.900	2.134	2.056	2.212	1.900	1.900	2.030	1.845	1.875	
	最 低	1.400	1.241	1.625	1.400	1.525	1.725	0.778	1.650	1.625	1.580	1.775	1.775	
	平 均	1.594	1.578	1.882	1.764	1.674	1.839	1.889	1.762	1.810	1.817	1.688	1.785	1.757
固 形 物 總 量	最 高	60.400	60.500	86.000	68.000	68.000	72.000	69.000	70.000	76.000	65.000	62.000	62.000	
	最 低	57.900	54.000	54.000	53.000	59.000	50.000	56.000	56.000	58.000	56.000	57.000	56.000	
	平 均	58.968	58.886	63.610	59.515	59.733	60.238	59.712	60.000	61.333	60.150	58.816	58.900	56.655
過 マ ン ガ ン 酸 カ リ ウ ム 消 費 量	最 高	0.790	0.711	0.988	0.711	0.790	1.027	0.711	0.732	0.711	0.790	0.790	0.711	
	最 低	0.447	0.553	0.447	0.417	0.632	0.632	0.632	0.553	0.553	0.632	0.632	0.553	
	平 均	0.600	0.603	0.619	0.653	0.679	0.685	0.673	0.665	0.660	0.674	0.675	0.638	0.652
細 菌 聚 落 數	最 高	30	64	39	64	46	14	21	30	71	62	68	55	
	最 低	2	2	1	2	3	2	2	3	2	2	3	2	
	平 均	10	18	13	16	11	9	9	10	15	15	15	17	13

中之ヲ省ケリ  
 本年中一月一回、三月一回、八月五回、十月二回、計九回ハ細菌培養液化シ計算スル能ハス依テ平均數  
 臭味、反應、硫酸、硝酸、亞硝酸、アンモニアノ欄内數字ハ其試驗回數ヲ示シタルモノナリ  
 シタルモノナリ  
 各成分ノ平均數ハ各個ノ試驗ノ總數ヲ試驗回數ヲ以テ除シタルモノ、全年平均數ハ各月ノ平均數ヲ更ニ平  
 均本表濾過水ハ濾池、淨水池、溜井等ノ中央濾水ヲ謂フ

東京市水道統計表

第十 各種水質試験成績 大正十三年自一月至十二月

試験回数		源水	沈澄池	濾水	市内栓
		20	62	888	473
色度	最高	6.0	13.0	0	0
	最低	0	2.0	0	0
	平均	1.1	6.2	0	0
濁度	最高	5.0	15.0	0	0
	最低	0	1.0	0	0
	平均	2.2	4.9	0	0
臭味	無臭	20	62	888	473
	無味	20	62	888	473
反應	弱アルカリ性	20	62	888	473
クロール	最高	1.825	1.773	1.773	1.773
	最低	1.241	1.241	0.887	1.064
	平均	1.521	1.412	1.372	1.359
硫酸	痕跡	20	62	888	473
硝酸	痕跡	20	62	888	473
亞硝酸	檢出セズ	20	62	888	473
アンモニア	檢出セズ	20	62	888	473
硬度	最高	1.925	1.134	2.212	2.875
	最低	1.100	1.400	1.241	1.415
	平均	1.678	1.814	1.713	1.808
固形物總量	最高	78.000	78.000	86.000	72.500
	最低	50.000	56.000	50.000	50.000
	平均	67.600	65.300	60.015	59.647
過マンガン酸カリウム消費量	最高	4.266	1.896	1.027	1.027
	最低	1.264	0.632	0.447	0.447
	平均	2.208	0.917	0.654	0.656
細菌聚落數	最高	8900	11200	71	90
	最低	1200	200	1	1
	平均	3465	3053	13	16

記載例ハ第十表(濾過水質試験成績)ニ同ジ  
濾水九回、市内栓十一回、細菌培養液液化シ細菌聚落數ヲ計算スル能ハス依テ平均數中之ヲ省ケリ

東京市水道統計表

第十ノ二

各種水質試験成績 大正十三年自五月至十二月

		村山貯水池 (上ノ池引入口、同上 引出口、下ノ池引出口)	導水路 (境浄水場内大開渠)	境濾水 (濾池甲一號乃至「號乙一」 號及一號並和田堀線溜井)	和田堀浄水池 (浄水池引入口同上引出口)	備考
試験回数		24	23	184	60	本表濾水ハ大正十三年五月上旬ヨリ市内ニ配水シタルモノニシテ市内水栓ハ淀橋濾水ト同一ナリ 化シタル以テ平均數中之ヲ省ケリ 本表細菌聚落數中上ノ池引入口、大開渠、及濾水甲五號、同甲八號各一回、計四回ハ細菌培養液
色度	最高	40.0	5.0	0	0	
	最低	0	0	0	0	
	平均	6.9	3.0	0	0	
濁度	最高	30.0	4.0	0	0	
	最低	0	0	0	0	
	平均	5.2	2.0	0	0	
臭味	異臭味ナシ	24	23	184	60	
反應	弱アルカリ性	24	23	184	60	
クロール	最高	2.660	1.773	1.773	1.773	
	最低	1.241	1.241	1.241	1.241	
	平均	1.610	1.433	1.439	1.438	
硫酸	痕跡	24	23	184	60	
硝酸	痕跡	24	23	184	60	
亞硝酸	檢出セス	24	23	184	60	
アンモニア	檢出セス	24	23	184	60	
硬度	最高	2.212	2.160	2.680	2.368	
	最低	1.525	1.775	1.750	1.241	
	平均	1.988	2.004	1.965	1.689	
固形物總量	最高	120.000	82.000	90.000	96.000	
	最低	60.000	63.000	58.000	57.000	
	平均	73.958	73.000	66.016	65.217	
過マンガン酸 カリウム消費量	最高	4.424	2.923	1.975	1.869	
	最低	0.790	0.711	0.632	0.632	
	平均	2.322	1.168	0.946	0.999	
細菌聚落數	最高	5600	14900	95	97	
	最低	500	200	0	2	
	平均	2600	2454	17	22	

表計統道水市京東

一十第

考	備	大正十三年	月												
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均	
		降水量	五、八	三〇、六	八六、九	一五、三	五、四	一五、八	二一、七	四一、六	四三、五	一四、一	五七、五	一〇、九	一一九、〇
		細菌聚落數	六七	三五	三〇〇	九三	一六〇	三三五	三三〇	二四〇	三五〇	九五〇	一七〇	二二五	一一五
		クロール	一、二五	一、三〇	一、二五	一、三三	一、〇九	一、〇八	〇、八七	一、〇五	一、三三	一、四三	一、四一	一、九七	一、五五
		マンガン酸カリウム消費量	〇、五九	〇、六九	〇、五八	〇、六三	〇、四七	〇、五二	一、三四	一、六九	一、五二	一、〇六	一、五八	〇、六三	〇、五二
		固形物總量	六三、一〇〇	六七、五〇〇	五九、〇〇〇	五七、三三三	六〇、〇〇〇	六四、二四〇	六五、〇〇〇	八二、五〇〇	八三、〇六七	七五、一〇〇	七三、八〇〇	五七、九〇〇	六六、七五五
			六、八八	五、八六	六三、六〇	五九、五五	六〇、七三	六〇、二八	五九、七二	六〇、〇〇	六二、三三	六〇、一五〇	五八、八二六	五八、六〇〇	六五、六五五

降水量ハ東京市水道淨水所ニテ測定シタル各月ノ總降水量ヲ示ス  
 本表ノ源水ハ沈澱池ヲ採リ濾水ハ中央濾水ヲ採リ凡テ各月平均數ヲ示ス



第十三 東京市水道統計表  
水質完全分析成績 大正十四年十月

検査種類	源水	濾過水
試験回数	I	I
色度	9.000	0
濁度	11.000	0
アルカリー度	8.500	8.000
固形物總量 (攝氏百度)	77.000	57.500
灼熱減量	15.600	9.200
クロール (Cl)	1.595	1.418
硫酸 (SO <sub>3</sub> )	4.921	5.291
硝酸 (N <sub>2</sub> O <sub>5</sub> )	0.673	0.502
亞硝酸 (N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> )	0	0
磷酸 (PO <sub>3</sub> )	0	0
遊離及半化合炭酸	16.845	10.537
總炭酸 (CO <sub>3</sub> )	58.226	39.681
硅酸 (SiO <sub>3</sub> )	15.418	12.353
鐵 (Fe)	1.082	0.699
アルミニウム (Al)	0.655	0.567
マンガン (Mn)	0	0
カルチウム (Ca)	12.324	7.967
マグネシウム (Mg)	0.803	0.637
ナトリウム (Na)	7.036	5.555
カリウム (K)	痕跡	痕跡
アンモニウム (NH <sub>3</sub> )	0	0
蛋白類似アンモニア	0	0
備考	1. 源水ハ色度、濁度以外ハ濾紙ヲ以テ濾過シタルモノニ就キ分析セリ 2. アルカリー度ハ $\frac{N}{10}$ HCl ノ C.C 數ヲ以テ表ハセリ 3. 表中ノ數字ハ檢水一「リール」中ノ「ミリグラム」ナリ	

終